

要 望 書

所管省庁	厚生労働省
要望内容	<p>6 周産期医療の充実について</p> <p>新生児の体重が 10 年連続で全国 1 位である福井県においても、出生時の体重が 1,000 グラム未満の超低出生体重児の出生割合は増加傾向にある。全国的に周産期医療体制の充実が必要である。</p> <p>このため、ハイリスク分娩の安定的な受け入れ体制を維持し、妊婦が安心して出産できるよう、総合周産期母子医療センターについて、これまで行ってきた運営費等の支援を充実強化すること。</p>
担当部課	健康福祉部健康増進課
具体的現状と課題	<p>○周産期医療体制への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 19 年の福井県の新生児の平均体重は 3,040 g で、平成 10 年から 10 年連続で全国 1 位。(全国平均 3,000 g、厚生労働省人口動態調査) ・本県の出生数は減少傾向にあるが、出生時の体重が 1,000 グラム未満である超低出生体重児の出生数に占める割合は増加傾向にあり、今後とも周産期医療体制の充実が必要。 <p>(超低出生体重児の割合：15 年度 0.2%、19 年度 0.43%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合周産期母子医療センターの運営費の収支差額に対する国庫補助制度は、申請額に対し補助基準額が大幅に低い状況。 <p>(21 年度：申請額 98,075 千円、補助基準額 35,298 千円)</p> <p>【県予算額】 総合周産期母子医療センターへの繰出金に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21 年度 国庫補助額：11,584 千円、繰出金：98,075 千円
備考 (別添資料等)	<p>【別添資料】</p> <p>○周産期医療対策の必要性</p>